

平成28年4月 鹿島市定例記者会見

日 時 平成28年4月15日（金）13時30分～

場 所 市役所 3階 庁議室

1. 開 会

2. 市からのお知らせ

- ・企画財政課からのお知らせ
（香取市との友好都市協定・災害時相互応援協定）・・・資料 2-1

- ・環境下水道課ラムサール条約推進室からのお知らせ
（平成28年度太陽光発電設備設置事業費補助金）・・・資料 2-2
（平成28年度家庭用浄化槽設備整備事業費補助金）・・・資料 2-3
（森里川海を繋げる水のまち、鹿島。広報冊子発行）・・・資料 2-4
※DVD再生あり

- ・商工観光課からのお知らせ
（鹿島市観光PV「1秒で好きになる鹿島」を放映）・・・資料 2-5
※DVD再生あり

3. 行事のお知らせ

- ・別紙参照

4. 団体等からのお知らせ

- ・鹿島市民立生涯学習・文化振興財団からのお知らせ

5. 記者との意見交換

7. 閉 会

次回は5月定例記者会見

5月19日（木）13時30分～

市役所 3階 庁議室

問合せ・連絡先 総務部企画財政課

TEL63-2114 田中、峰松

佐賀県鹿島市 定例記者会見資料



報道機関 各位

部課名

総務部企画財政課

件 名	香取市との友好都市協定及び災害時相互応援協定の締結について
アピールポイント	<p>千葉県香取市とは、平成24年の伊能忠敬来鹿200年記念事業をきっかけに、「ふるさとの自然、歴史、文化を活かしたまちづくり連携に関する協定(まちづくり連携協定)」を締結しており、現在子どもの相互訪問を中心とした交流を行っています。</p> <p>「まちづくり連携協定」のなかで、「友好都市として盟約の締結を目指す」こととしており、香取市合併10周年記念式典に合わせて、友好都市協定を締結することとしました。</p> <p>また、災害時に相互に応援するため、災害時相互応援協定も同時に締結します。</p>
説 明	<p>千葉県香取市とは、合併前の旧佐原市の時代から相互に訪問を行い、交流を深めてきました。平成24年の伊能忠敬来鹿200年記念事業への香取市長の訪問をきっかけに「まちづくり連携協定」を締結し、平成26年にはガタリンピックに香取市から小学生を招待し、また平成27年には鹿島市の子ども達が香取市を訪問し佐原大祭に参加するなど、子どもの相互訪問を中心とした交流を行っています。</p> <p>「まちづくり連携協定」のなかで、「友好都市として盟約の締結を目指す」こととしており、市制60周年記念事業に香取市教育長が来鹿された際、正式に友好都市協定の申し出があり、香取市合併10周年記念式典に合わせて、友好都市協定を締結することとしました。</p> <p>また、道の駅や重伝建地区のまちづくり団体同士の交流など、今後様々な分野で交流を深めるため、市内の各団体からも訪問に参加していただきます。</p> <p>さらに、災害時の被災者の救護などの応急措置や復旧を相互に応援するため、災害時相互応援協定も同時に締結します。</p> <p>○日 程：友好都市協定・災害時相互応援協定締結式 日時：4月23日(土)18:00 場所：パレス大藤 香取市合併10周年記念式典 日時：4月24日(日)10:00 場所：佐原文化会館</p> <p>○参加者：市長・市議会議長・議員2名・教育長・市職員9名・市内団体等7名 (鹿島市民立生涯学習・文化振興財団、史談会、水とまちなみの会、七浦地区振興会、道の駅鹿島) 全21名</p>
別添資料	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし

本件に関する問合せ先

所属	総務部 企画財政課 企画係
氏名	峰松健二
TEL	0954-63-2101
FAX	0954-63-2129
Mail	kikaku@city.saga-kashima.lg.jp

佐賀県鹿島市 定例記者会見資料

報道機関 各位

部課名

環境下水道課

件 名	平成28年度太陽光発電設備設置事業費補助金について
アピールポイント	太陽光エネルギーの普及拡大により、地球温暖化の防止に寄与することを目的として太陽光発電設備設置事業補助金の交付申請を受付けています。
説 明	<p>[申請期限] 平成29年3月31日</p> <p>[補助金額] 設置する太陽電池の最大出力 (kW) に2万円を乗じた額 (ただし、上限6万円)</p> <p>[対象者] 市内の個人住宅または併用住宅（併用住宅の場合は、自己の居住する部分に限る）で、以下のすべての項目に該当すること ①市税の滞納がないこと ②補助申請書の提出後、市職員の現地確認後に着工し、申請期限までに工事が完了すること ③平成27年度以前で補助金6万円以上を受けていないこと（仮に5万円の補助金を受けていた場合は、今回最大で1万円の申請ができます） ※申請時に市外住民である場合は、工事完了報告までに転入手続きをしてください</p> <p>[対象工事] ①市内の既存または新築の住宅であること また、屋根などへの設置に適したもので、低圧配電線と逆潮流有り で連結していること ②太陽電池の最大出力が10 kW未満であること （増設の場合は合計して10 kW未満であること） ③補助対象経費が1 kW当たり65万円以下であること ④設置工事は県内の業者が行うこと</p> <p>[申請状況] 今年度25件の補助を予定。現在3件の申請を受付。</p>
別添資料	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし

本件に関する問合せ先

所属	環境下水道課
氏名	廣瀬洋子
TEL	0954-63-3416
FAX	0954-63-2313
Mail	kankyousaga@city.saga-kashima.lg.jp

佐賀県鹿島市 定例記者会見資料

報道機関 各位

部課名

環境下水道課

件 名	平成28年度家庭用浄化槽設備整備事業費補助金について
アピールポイント	<p>合併処理浄化槽はトイレ・台所・浴槽・洗濯機等から生活排水として流れる水の汚れを約10分の1に浄化して放流します。水質保全のため、し尿と生活雑排水を併せて処理する合併処理浄化槽を設置しましょう。</p> <p>鹿島市では家庭用（合併処理）浄化槽設置費用に対する補助を行っていますのでご活用ください。</p>
説 明	<p>[申請期限] 平成29年3月31日</p> <p>[予定補助金額] 5人槽 332,000円（130㎡未満の住宅） 7人槽 414,000円（130㎡以上の住宅） 10人槽 548,000円（二世帯住宅）</p> <p>[対象者] ・国および佐賀県ならびに鹿島市が定めた要綱等に沿って設置される方 ・公共下水道事業認可区域以外の地域の方（※公共下水道事業認可区域とは数年以内に下水道が整備される予定区域のことで環境下水道課で確認可能です。鹿島市公共下水道計画図でご確認ください。） ・住宅用の10人槽以下の合併処理浄化槽を設置される方 ・年度内（3月末）に申請から設置まで確実に完了し竣工検査を受けることができる方 ・鹿島市に住所を有する方 ・市外から転居される方で年度内に鹿島市に住民票の異動が確実にできる方（市内転居の方も同様。） ・住民税（市税など）の滞納がない方</p> <p>※申請される前の工事（事前着工）については補助金の対象となりません。</p>
別添資料	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし

本件に関する問合せ先

所属	環境下水道課
氏名	廣瀬洋子
TEL	0954-63-3416
FAX	0954-63-2313
Mail	kankyou@city.saga-kashima.lg.jp

佐賀県鹿島市 定例記者会見資料



報道機関 各位

部課名

建設環境部ラムサール条約推進室

件 名	「森里川海を繋げる水のまち、鹿島」広報冊子の発行
アピールポイント	水によって繋がる森里川海が一体となった豊かな自然と、水に寄り添って生きる人々を紹介し、水のまち鹿島の自然環境や歴史文化を守るための魅力に気づける冊子を発行しました。
説 明	<p>鹿島市が自然豊かなまちである特徴として、海・川・山が川の上流から下流まで、一つのまちの中ですべてが繋がっていることが挙げられます。清浄な水は、人々の生活や文化とも密接に関わり、森里川海が一体となって水で繋がる環境は、鹿島市の大きな資源であり、その保全と活用は今後の課題でもあります。</p> <p>そのような中で、鹿島市の自然環境や歴史文化を体験して学んでいくことで、一人ひとりが環境を守っていくことの大切さを意識するためのきっかけとなるような、エコツーリズムの可能性を模索しています。</p> <p>鹿島市民だけでなく、観光客にも鹿島市の魅力を新しく発見してもらえるように、「水のまち、鹿島」という地域資源の豊かさを伝えることができるような内容となっています。</p>
別添資料	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし

本件に関する問合せ先

所属	建設環境部環境下水道課ラムサール条約推進室
氏名	江島 美央
TEL	0954-63-3416
FAX	0954-63-2313
Mail	ramsar@city.saga-kashima.lg.jp

肥前かしま

HIZENKASHIMA

森里川海

水と生きる、人が支える

水と生きる里の暮らし

経ヶ岳、清流紀行

水の賜物 鹿島の銘酒

水の社、祐徳稲荷へ

「前海」のこと

自然を愛する鹿島人

鹿島、エコツーリズムの可能性

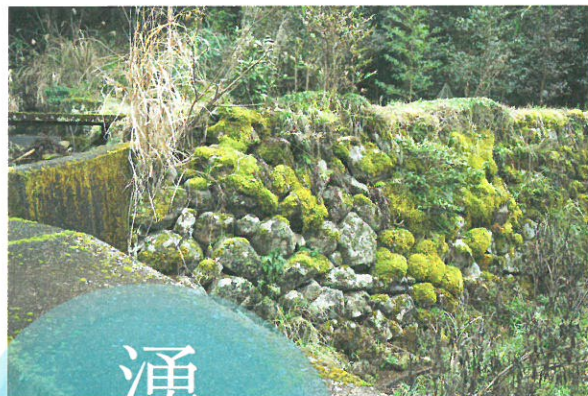
水のまち、
鹿島

水のまち、 鹿島

鹿島市は自然豊かな町だ。その代表は干潟だろう。古くから「前海」として地域の人々を支えてきた「暮らしの海」であり、他方では希少種の渡り鳥の休息の地としても知られ、2015年5月にはラムサール条約湿地に登録された。

豊穡なる海の恵みの元となるのは、鹿島市の西、1000m峰としては日本最西端の経ヶ岳がそびえる多良岳山系をはじめとする山々からの水だ。幾筋も延びる河川、地下水脈によって運ばれる清浄なる水は、土地の生活や文化とも密接に結びつき、谷間の集落では米づくりが盛んに行われ、里では酒造りに活用されてきた。そして、海に目を戻せば、ムツかけ漁や四つ手網漁（棚ジブ漁）など、伝統的な漁が今も残り、それが風景の一部となっている。

森里川海が一体となっていた自然が鹿島市の魅力。それらを繋ぐのは水だ。暮らしに寄り添う水を探して、地域を旅してみる。



湧水

取材で訪ねた藤ノ瀬延命水。思い思いの水汲みの道具が置かれていた。近くには鹿島三代藩主・鍋島直朝公が築いた農業用の水路・鹿城川もある。



鹿

島市は水の町だ。点在する「水景」がそれを証明している。たとえば市役所の近くにある

泉通りあたり。その名の由来は「少し掘ると泉が湧き出るから」と市史にある。付近には井戸が多く、農業用水に利用されていくというが、湯水期である冬期でさえも涸れていない。このあたりは中川扇状地の先端部に位置。一般的に扇状地は砂礫層から成るため透水性が大きいが、中川は多雨気候の多良岳に源流があり、また砂礫層が比較的薄いことなどが水に恵まれている理由だ。

市内には水路も多い。そしてよく見てみると、その水路には暮らしに利用されてきた跡が今も残っている。水面まで階段を設けた水利しやすい造りを、地域では「引き水」と呼んだのだとか。今でこそあまり使われなくなった引き水だが、かつては、水路に面した家々が洗い物をしたり、農作業の汚れを落としたりもしたのだらう。

名水も有名だ。佐賀県を代表する名水として環境省が紹介している湧水は5カ所、そのうち2カ所がここ鹿島市にある。1つは経ヶ岳登山口にある平谷湧水。もう1つは祐徳稲荷神社近くの藤ノ瀬延命水。いずれも軟らかい口あ

たりの飲みやすい水が湧き出



ており、近隣はもとより、遠方からも人を集める。里山にも目を向けてみたい。水が里を潤し、海へと辿り着いているのは、里山が整備され、保水や水質浄化などの水源涵養機能がきちんと働いているから。それをわかる景観がある。たとえば、果樹栽培が盛んな音成地区を、山から海へ向かってクルマを走らせてみよう。山間部では手入れされた森が続く、森を抜ければ里山の中に切り開かれた、美しさすら感じさせる果樹園を見ることができ

里山

七浦地区は果樹栽培がさかん。その礎は、昭和39年、国営初の近代化されたみかん園造成を目的とした試験事業。写真は七浦ニューツーリズム活動推進協議会副会長の松本雅則さんの畑など。



泉通りにある井戸。丸い石を積み上げて造られた井戸。長方形で深さは6〜7メートルほど。夏は満水に近い状態になる。

井戸

水と生きる里の暮らし

水路、引き水



泉通りをはじめ、有明海を臨む浜川河口の浜地区、鹿島川上流の能古見地区などでよく見られる。また、ある場所では水路、引き水の水場から湧き水があり、そこでは清流でしか育たない梅花藻（バイカモ）の姿も。

海から山へ。

鹿島の水はどこから？

経ヶ岳、清流紀行

「雨」

の降った後に、水と一緒に流れてくる栄養。川から海に流れ込む栄養が多かけんですね、鹿島の海苔はおいしいですよ」

そう教えてくれたのは、およそ45年間、有明海で海苔を育ててきた松尾清徳さん。海へ同行させていただいた折、松尾さんの船から見えたのが、このページの写真だ。「海苔ひび」と呼ばれる海苔の養殖棚と、その向こうにそびえる勇壮な多良岳山系。鹿島市が、山から海までが一

体となった環境空間であると実感できる風景。

「漁協やいろんな団体でね、植林もやっています。自然の栄養分ば、川から海に持ち込んでもらうぎですね。山の恵みの実感？ ありますね。梅雨の雨量の多か年はずね、栄養が割と長く持つ傾向があるようですね」

松尾さんの言葉を聞き、川の源を見たくなつた。鹿島市を流れる大きな河川は塩田川、中川、鹿島川、浜川の4本。今回、その中の1つ、経ヶ岳に源を発する浜川上流部を巡ることにした。

有明海の冬の風物詩「海苔ひび」が海面を覆う。



上／約20年前から続く「海の森植林事業」によって整備された森。作業には漁業従事者なども多く参加している。
下／取材で訪れた浜川の上流部。「苔の谷」として知られる、屋久島の白谷雲水峡のような幻想的な自然景観であった。

途

中、植林をした場所も案内してもらうことに。保水力や土砂の流出防止に高い能力を持つという落葉広葉樹を中心に植えられた森であった。約20年前から続く「海の森植林事業」として、鹿島市環境衛生推進協議会が主催、漁業者を中心とするボランティア団体などが参加し、毎年3月中旬に植林を、8月には下草刈りを行ってきたのだそう。近くにある、地元の方々が拓いたという展望台にも立ち寄った。多良

右／松尾清徳さん。「思ったような海苔ができる年もあればそうでない年もある。なかなか難しいです。毎年1年生ですよ、こればかりは（笑）」
左／多くの河川が流入する有明海は、豊かな栄養分が含まれる。日本一の干満差により、海水と太陽の光を交互にたっぷりと吸収できる。



山の栄養が 川から 流れてくる

岳山系を背後に、緩やかな傾斜の裾野が、放射状の浸食谷となつて海まで延びているのがよくわかった。

浜川の上流に向かうにつれ、水量が減っていく。だが、空気は逆に濃度を増していくように感じた。

林を抜け、いくつかの堰を超え、辿り着いたのは、浜川の支流の上流部だった。巨大な岩が積み重なった流れの一部は滝のように、その流れを抱くのは、鬱蒼とした樹木に覆われた安山岩

や玄武岩らしき岩肌。なるほど、この山塊はかつての火山と聞いていた。火山岩が多いのはそのためだろう。しかし、驚くのはこの風景だ。絶景と称される、とある島の苔の谷を思わせる景色が、市街地からさほど離れていない場所にあることが、ただただすごい。あまり知られていない、鹿島の魅力ともいえる。

そして清流の水を手のひらですくい、口をつけてみた。凛として軟らかい、極上の清水であつたことは言うまでもない。

寛政7年（1795）創業、野古見地区にある馬場酒造場。
地元産山田錦を主に使用し日本酒を醸す。

水の賜物

鹿島の銘酒



「
」
つの市で6つ蔵があるというのは、
私は「酒蔵のまち」と言っても過
言ではないと思っています」とは、

佐賀県酒造組合副会長であり、鹿島市能古見地区にある馬場酒造場代表の馬場第一郎さん。実際、鹿島市は銘酒の里として名高い。各酒蔵はさまざまな鑑評会で上位の常連であり、世界一の評価を拝した酒も生んだ。
そして日本酒といえは水だ。水の質で味が決まるとも言われる日本酒。また、豊富な水

量も酒造りには不可欠だ。仕込み水だけでなく、酒米を洗ったり、蒸したりするのにも、アルコール度数を調整する「割り水」にも水が使われる。ゆえに、「名水ある地に名酒あり」なのだ。

鹿島市の酒蔵が使うのは、もちろん多良岳山系の伏流水だ。「佐賀県の中でも名水といわれていますね。この水は弱軟水なんです。だからその水で仕込むお酒は、自然と味わいのあるお酒に仕上がっていきます。それが鹿

島のお酒の特長でもありますね」。

取材はちょうど仕込み時期。できあがったばかりの日本酒の風味を確認しながら、馬場さんはさらに続ける。「地酒は土地の料理との相性。鹿島の料理は結構「味濃い」。それに合わせるということで、自然と味わいのあるタイプの酒になっていったんでしょう。ただ、その土地の味をつくるのも水なんです」。
水は風土の基層だ。6つの蔵の名酒を飲み比べながら、鹿島の水について考えてみたい。



日本三大稲荷にも数えられるのが、鹿島市にある祐徳稲荷神社だ。
鎮西日光とも称されるその豪華絢爛な社殿の装飾には、
どことなく雅な歴史が感じとれる。それもそのはず、
御鎮座に尽力された鹿島三代藩主・鍋島直朝公夫人は京都の公家出身。
朝廷の勅願所であつた稲荷大神の御分霊を京都から勧請され、
その功績を讃え夫人の贈名が当社の名の由来なのだろう。
そんな由緒ある神社に入っていくと、
境内が「水」に溢れていることに気づくだろう。

鹿島三代藩主鍋島直朝公夫人萬子媛をお祀りする石壁社脇にある水鏡。吉凶を占っていたとされ、
今も水が涸れることがないという。

水の社、祐徳稲荷へ

水を仲立ちに 人と神様を 結んできた

祐

徳稲荷神社権宮司・鍋島朝寿

さんに水にまつわるエピソードを伺った。「神社の脇を流れる川は、一般的には浜川といいますが、とくにこの流域を地元の人々は『錦波川』と呼んで大事にされています。昔はお参りする前の禊をする場所でしたから、その思いで今も川をきれいにされておられるんですね」。そう言われて川を見てみれば、確かに清らかな流れ。

「水はね、やっぱり人間の気持ちを浄化させる作用があると思うんですよ。そんな水は神社と深い関係にあります。たとえば春のお田植え祭。田んぼの水が入ってくる場所・水口には御幣を建てるんです。御幣は神様への道しるべ。神様に『こちらでお田植えしますよ』とお知らせし

て、降りてきていただき、農耕を見守っていたためなんですね。収穫したあとは、感謝の気持ちを込めて秋祭りを奉納する。当社の秋祭りの夜の神事に『お火たき』があります。火の霊力によって一年間の罪汚れを祓い清める祭礼。そして、どんどん上にあがっていく火の力をお借りしまして、無事収穫を見届けた神様に山へと帰っていただく、そういった祈りの気持ちも込められているんです」。講話を聞いて思うのは、神様とは水ではないか、という思い。鍋島権宮司に聞くと、「そうとも考えることができるでしょう。私はね、人と神様を歴史的に結んできた、仲立ちのような力が水にはあるのだと思っています」

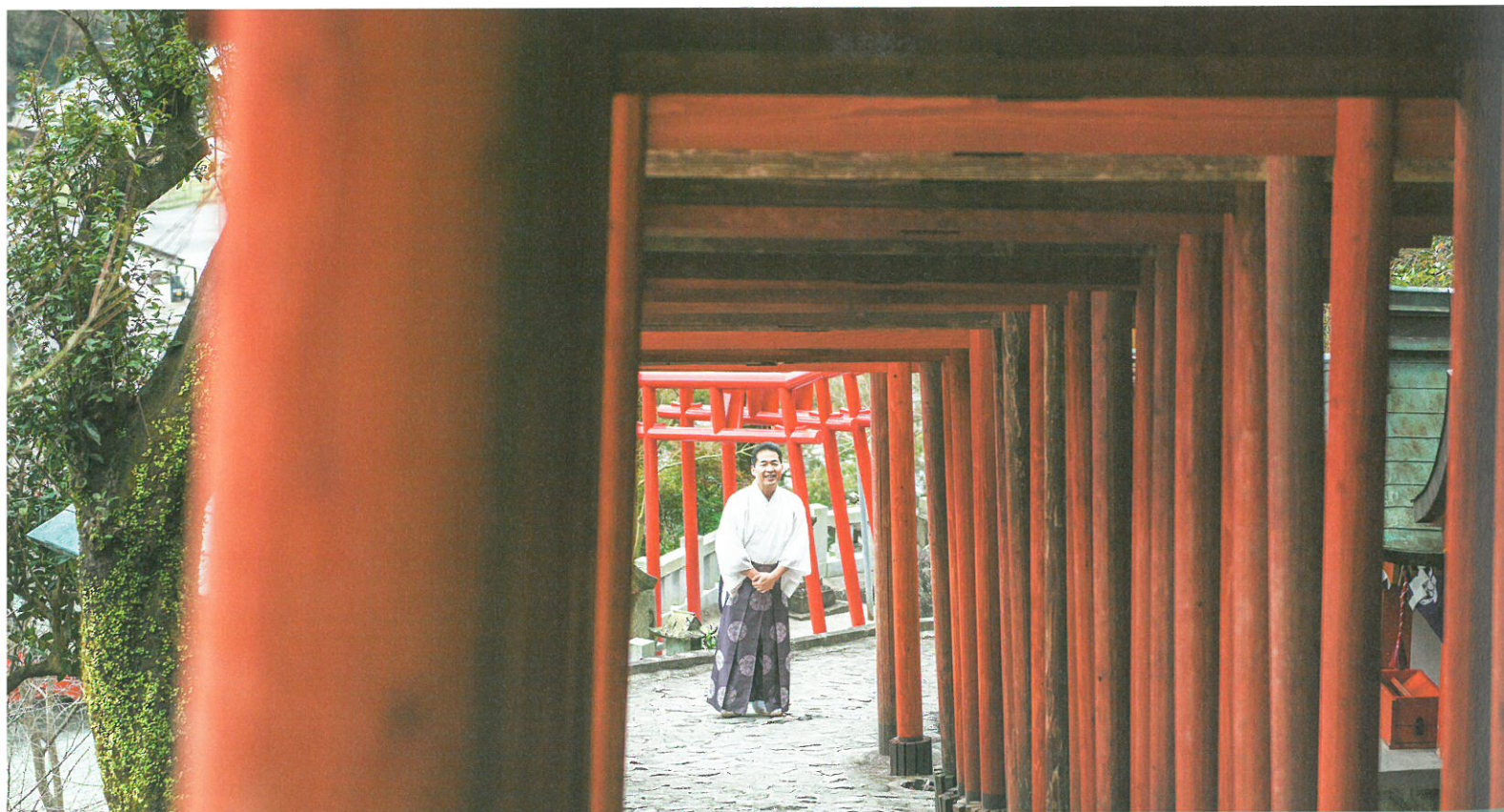
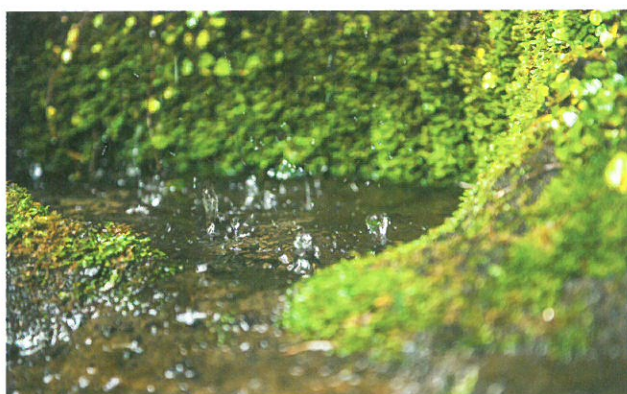
また、昨今の祐徳稲荷神社は、海外の

人気映画のロケ地になったことで、外国人も数多く訪れる。その出会いの中でも、水の大切さを再認識したと鍋島権宮司は答えてくれた。

「当たり前がいかにかにありがたいか、ということですね。ここ近年、外国の方と接していて思いますよね。日本ではこれだけ水が豊富なことは普通なんですけど、海外ではそうではない。そしてそれは一朝夕にできたものじゃなくて、先人が自然を大切にされてきたからこそ。今、私たちはそれを継承しているだけの話であって、私たちも未来に、この大切な水というものを、心とカタチで示していきたいんじゃないかと思っています」



右／手水舎の水は対岸の東山が源。美容成分のシリカが多く含まれ、最近ではこの「神水」を用いた、美容商品ブランドも生まれました。下／境内、岩崎社の脇には水滴によって大きく穿たれた石があった。



「水があるところに、人が集まる。動物が集まる。水はコミュニティの源泉。そういった場所に神社ができてきたんじゃないかと思うのです」（祐徳稲荷神社権宮司・鍋島朝寿さん）。



三重・伊勢神宮における禊の水辺、五十鈴川をも彷彿とさせる清らかな流れ。午後、西日が射し込み、川面を金色に輝かせた。

前海のこと

山に端を発した水は、やがて海へと辿りつく。鹿島市の場合はもちろん有明海。日本最大の干満差、干潟面積を誇る豊穡なる海だ。

「日本各地にラムサール条約登録湿地がありますが、鹿島の場合は地域の人々が『前海』と呼ぶほど身近なもので、昔から人々が干潟と寄り添うように生きてきたという点が特長だと思います。晩ご飯のおかずが足りない時に、ちよつと海に行つてアゲマ

キガイを採ったり、魚を釣ったり、そのくらい暮らしに近い存在。伝統漁法も多く、たとえばムツゴロウを針で釣るムツかけ漁は、元禄後期（江戸年間）くらいからあり、それが今も受け継がれている。四つ手網漁（棚ジブ漁）を行う棚も、一昔前までは

20基くらいが浜にあつたようです。そう説明してくれたのは鹿島市干潟展望館チーフ・中村安弘さん。しかし、中村さんによれば、一見豊かに見える有明海にも、刻々と環境の

変化が起きているという。

「最近、有明海で問題になっているのは貝が採れないこと。勢いよく水が入ってきて出て行く。それがもともとの有明海だったんですが、諫早の干拓や筑後大堰（おおぜき）によって海の面積が少なくなり、それにとまって海水の勢いが弱くなり、海をうまくかき混ぜられない状態になりました。結果、干潟の泥の中の栄養状態が悪くなり、貝が棲めなくなつてしまつたんです」

鹿島市干潟展望館チーフ・中村安弘さん。「たくさん水鳥がやってくるし、伝統漁法も残っている。人々の暮らしに近い有明海は、世界的に評価される場所だと思います」。



昭和30年代の干潟の風景。干潟の漁へ出かける男（上）と、ワラスボを焼く女性（下）。海が暮らしとともにあった時代の貴重な記録。地元のアマチュア写真家・安永真一氏撮影。

世界的にも希有な

ワイズユースのカタチを、

未来へ継承するために

聞

けば、アゲマキガイは平成に入って絶滅、ウミタケに関しては絶滅寸前。逆に増えているのはビゼンクラゲだそうだ。

それだけではない。潮の流れも変わり、四つ手網漁（棚ジブ漁）でも、沖の生物が捕れたり、シヤコが採れたり。逆に、スズキなど、今まで獲れていたものが獲れなくなったり。「この辺りも海流が変わってきて、そういう変化も感じています」。

伝統漁法も今、危機に瀕しているそうだ。「もともと、地元の人がムツゴロウを食べるためにムツかけ漁があつたんですが、今ムツゴロウを食べなくなつて、漁を継承する人も少なくなっている。ムツゴロウ自体は1992年から10年間の調査で、8倍に増えている。獲らなくなつたからなんです。市場で串にさした素焼きが売

っているけど、買い手がつかない。現代の生活スタイルに合ったムツゴロウの食文化をつくつていかないといけないなと感じます」。

危惧する一方で、回復できる可能性はあると中村さんはいう。「ここ鹿島のみなさんは、有明海を『自分たちの身近な海』という意味で、昔から『前海』と呼んできたくらいだから環境意識が高いほうだと思っています。生活排水を川や海に流さない、という文化も、比較的あるほうだと思います。そういう気持ちの部分で、若い人たちに受け継いでいってもらふことによって、守られていくと思いますし、そうあつてほしいですね」。

自然は地域の宝だ。前海を残すことは地域の未来に繋がる。想いある人たちの手によって、それはきつと叶う。



1.



3.



5.



4.



2.

1. 30年ほど前から始まった干潟体験。毎年5月下旬～6月上旬には干潟遊びをプログラム化した「ガタリンピック」も開催している。2. 今も受け継がれるムツかけ漁。江戸年間元禄後期から続く歴史ある漁だ。3. 地元への理解を深める干潟鑑賞会などがさかんに行われている。4. ムツゴロウの甘露煮やガンツケをはじめ、干潟の伝統食は貴重な食文化ばかり。5. 潮の満ち引きに合わせた伝統の待ち網漁「四つ手網漁（棚ジブ漁）」。写真の小屋の中から網を仕掛け、魚を待つ。

フォーラム鹿島

昭和59年（1984）、当時の青年会議所理事長が市内の若者達に呼びかけ、結成したのが、むらおこしグループ「フォーラム鹿島」。当時、利用価値の低い“負の遺産”と考えられていた干潟に目をつけ、翌年5月に鹿島ガタリンピック第1回を開催。以降、今日まで続く一大イベントを企画・運営している。

TEL 0954-62-5656
（鹿島青年会議所事務局内）

まえうみ市民の会

独自の生態系や豊かな文化的背景を持つ有明海を学んで、それを後世に伝えていこうと、佐賀県内の有明海沿岸部の住民や研究者ら約30人が集まり、2014年に設立。「前海」の魅力を掘り起こし、内外に発信する活動を行っている。

TEL 080-6463-2434
（本会専用携帯）

鹿島酒蔵ツーリズム推進協議会

鹿島の酒蔵を巡り、蔵人と触れ合い、彼らが造る酒を味わう。その酒が生まれた土地を散策しながら食や文化、歴史を全身で楽しむ——そんな旅のスタイルを「鹿島酒蔵ツーリズム®」と定義し、鹿島市内で製造される酒はもちろん、地域が持つ文化や歴史を合わせ、国内外へと情報発信する活動を行う。

TEL 0954-63-3412
（鹿島市商工観光課内）

多良岳～有明海 水環境保護団体・水の会

海を含めた上流までの水環境への啓発を目的に2004年に発足。川の清掃や収穫体験、海の森の植樹などのほか、WWFジャパンと連携しながら石垣島の子どもたちとの交流事業も行う。

TEL 0954-63-4329

「多良岳～有明海
水環境保護団体・水の会」
にしむらおさむ
代表・西村 宰さん

自然を 愛する 鹿島人

鹿島市には
森里川海をフィールドに
自然や歴史、文化、
暮らしを伝える
活動を行う団体が
たくさんあります。

アクションを促す役割に

鹿島の自然環境に関する情報発信や講演活動、他団体との連携、さらには自然体験のサポートなどが水の会の主な活動だ。そのスタンスは明確で、「アクションを促す」ことだそう。「鹿島に残っているすばらしい自然をみんなで体感する。源流から干潟まで。それをとことんやっていこうと。たとえば外から人を招いて、地域の人が一緒になって感動できたら、何かが変わる可能性がある。地元のことを喜んでくれたらうれしいですから。それをきっかけに地域の人たちが自然に目を向けてくれるようになるかもしれない。また、たとえば子ども世代に美しい川で遊ばせることは、その記憶によって、川

能古見小学校前の水路にて。「ここは暮らしの風景、人の営みを感じられる川です」。随所に、かつて周辺の人たちが水利していた「引き水」の跡が。西村さんおすすめの学びの場所だ。

鹿島に課せられた使命を感じて

2016年で32回目を迎える鹿島ガタリンピック。その18回目の実行委員長を務めたのが、「多良岳～有明海水環境保護団体・水の会」代表・西村宰さん。実行委員長として鹿島のさまざまな団体や七浦地区の人たち、そして干潟そのものと深く関わった中で、鹿島が持つ恵まれた自然環境とその使命に気づいたのだと西村さんはいう。「ここ鹿島には海があり里山があり、平野がある。源流から海まで、ただか20キロ未満の距離感の中に水の循環が形成されている自治体はありそうでなかなかない。それはつまり、僕らの生活の中で水を汚したり、逆に浄化したりといった活動の結果がすぐに現れるということ。良くも悪くも、僕は試されているんじゃないかなって。有明海という大きな環境をどうにかしようというよりも、僕は小さくとも山川海の中で生かされているこの鹿島で、できることをしていこうと水の会を立ち上げました」。

や海にゴミを捨てるといった、マイナスのアクションにブレーキをかけることもできるでしょう」。自分で決めて、自分で動く。人材を育む——そのポリシーは徹底していて、たとえば北鹿島小学校との取り組みである源流体験では、ガイドを務めつつも極力答えへと導くようなことはしないという。「子どもは素直ですから、すぐに教えられた方へ行ってしまう。そうではなく、遊びの中で感じたことをきっかけに、自分で考えられるようになってほしいのです」。

今後、水の会ではエコツアーをはじめ、子ども向けのプログラムなども充実させていきたいと西村さんは語る。一人でも多く、自然を愛する「鹿島人」を育成するために。

鹿島、エコツーリズムの可能性

鹿島市には海もあって川もあって、
そして多良岳山系の山もある。
1つのまちの中で、川の上流から下流まで、
すべてが繋がっている。

山から流れてくる水、伏流水となって湧き出る水は、
流域の人たちの潤いであり、暮らしや生業に不可欠なモノ。
だからこそ、鹿島では水場を汚さぬよう
意識する心が育まれてきたのだろう。

そして川によって運ばれてくる山の栄養分などによって、
栄養豊富な海となった有明海には、
多種多様な生き物が生息し、
古来、それらの命を『前海物（まえうみもの）』として
地域の人たちはいただいていた。

水と生きる。人が支える。

鹿島の地は、それを体現する環境フィールドだ。
土地の貴重な自然環境や歴史文化を紹介しながら、
同時に地域の『宝』も守っていく。
鹿島は、エコツーリズムの可能性に満ちている。





発行 平成28年3月

鹿島市建設環境部環境下水道課(ラムサール条約推進室)

〒849-1312 佐賀県鹿島市大字納富分2643番地1

電話 (0954)63-3416 / FAX (0954)63-2313

佐賀県鹿島市 定例記者会見資料



報道機関 各位

部課名 産業部商工観光課

[illegible]

本件に関する問合せ先

所属	産業部商工観光課
氏名	三ヶ島正和
TEL	0954-63-3412
FAX	0954-63-2313
Mail	rousei@city.saga-kashima.lg.jp

佐賀県鹿島市 定例記者会見資料

主な行事予定（4月）



1 / 2 枚

No.1

日時 4月23日（土）

場所 千葉県香取市

件名 千葉県香取市友好都市締結式

内容

問合先 企画財政課

電話 0954-63-2101

No.2

日時 4月24日（日）

場所 千葉県香取市 佐原文化会館

件名 千葉県香取市合併10周年記念式典

内容 鹿島市長、市議会議長、市議会議員、教育長、市職員・市内団体等7名が出席

問合先 企画財政課

電話 0954-63-2101

No.3

日時 4月28日（木） 11:00～

場所 奥平谷キャンプ場

件名 奥平谷キャンプ場 山開き式

内容

問合先 商工観光課

電話 0954-63-3412

No.4

日時

場所

件名

内容

問合先

電話

No.5

日時

場所

件名

内容

問合先

電話

佐賀県鹿島市 定例記者会見資料



主な行事予定（5月）

2 / 2 枚

No.1

日時	5月14日（土） 9時から受付	場所	酒蔵通りを中心とした浜町周辺
件名	肥前浜宿スケッチ大会 対象：園児、小中高生、一般 参加費無料		
内容	肥前浜宿スケッチ大会を開催。情緒あふれる国の重伝建地区を存分に描きます。		
問合せ先	鹿島美術人協会 愛野	電話	090-3609-2060

No.2

日時	5月16日～22日 9時～18時	場所	鹿島市民交流プラザ・酒蔵通り
件名	肥前浜宿スケッチ大会 作品展覧会		
内容	参加者全員の作品を展示 入場料無料		
問合せ先	鹿島美術人協会 愛野	電話	090-3609-2060

No.3

日時	5月15日（日）	場所	鹿島市陸上競技場
件名	第61回鹿島市民体育大会		
内容			
問合せ先	鹿島市体育協会	電話	0954-62-3379

No.4

日時	5月27日（金） 10:00～	場所	鹿島市民会館大ホール
件名	鹿島市戦没者追悼式		
内容	10時10分頃にサイレンが鳴ります		
問合せ先	福祉課福祉係	電話	0954-63-2119

No.5

日時	場所
件名	
内容	
問合せ先	電話

4 月定例記者会見チラシ類

1. 平成28年度 第1回えいぶる事業

エイブル祭り

2. エイブルおとどけクラシック～邦楽の扉～

邦楽3人娘コンサート

3. 平成28年度 第3回えいぶる事業

～L e L i e n～

ソプラノ、フルート&ピアノの夕べ

4. 一日図書館職員体験&

子ども図書館サポーター募集

5. 外国語でたのしむおはなし会

6. としょかんビンゴ

7. 鹿島市民図書館オリジナル

紙 芝 居 展

8. 自分でアレンジ！ 鹿島市民図書館オリジナル

読 書 手 帖

9. えいぶる講座（会員対象無料講座）

古文書講座～くずし字入門～

第14回 エイブル祭りプログラム

【ホール】

期日	時 間	内 容	団 体 名
21日 (土)	8:50~ 9:20	よさこい、みのり太鼓	飯田保育園
	9:20~ 9:50	サクソ演奏	サクソサウンズ【サ】
	9:50~10:20	ハーモニカ演奏	ハーモニカ愛好会 ふきのとう【サ】
	10:20~10:45	フルート演奏	FL サークル267【サ】
	10:45~11:45	大正琴演奏	鹿島ブルースカイ、花みずき会
	11:45~12:15	歌	それいゆ【サ】
	12:15~13:00	ハワイアン演奏、歌、フラダンス	モアナハワイアンズ【サ】
	13:00~15:00	吟詠発表	鹿島岳翠会、伽宗会【サ】、鹿島吟友会、佐賀岳誠会
	15:00~15:30	民舞	東会【サ】
	15:30~16:50	太極拳	江島太極拳倶楽部「白虎」、「朱雀」
	17:00~17:20	ダンス	Bounce【サ】
	17:30~17:45	フラダンス	フラ ハラウ ナー ホク リッイ所属 フラ・マハロ & フラオーセブン【サ】
	17:45~18:15	よさこい	鹿島 美祐連【サ】
	18:15~18:55	リズムダンス	リズムダンス
22日 (日)	9:00~ 9:50	カラオケ発表	鹿島カラオケスタジオ杷菜
	10:10~10:40	フラダンス	フラ ハラウ ナー ホク リッイ所属 フラレア・カ・マカニ
	10:40~10:50	Hip Hop Dance	AIKO ダンスクラブ
	11:00~11:40	フラダンス	フラ ハラウ ナー ホク リッイ【サ】
	11:40~12:30	演劇、歌とダンスのステージ	劇団ヤマト
	12:30~13:10	日舞	湯っ娘
	13:10~14:20	日本舞踊	社協主催 趣味づくり健康づくり教室 藤松会
	14:20~15:00	フラダンス	西日本フラサークル (Hula Aloha、フラ Hau'Oli、フラピカケ【サ】、フラレアうれしの)
	15:30~16:00	ポウサルタリー演奏	プサルタリー愛好会
	16:00~16:30	オカリナ合奏	楽しいオカリナ あんだんて【サ】
	16:30~17:00	フルート演奏	C・Fフルートクラブ【サ】
	17:00~17:30	オカリナ演奏	オカリナサークル オーロラ【サ】
	17:30~18:00	二胡演奏	二胡二胡クラブ【サ】
	18:00~18:30	三線演奏と歌	鹿島かりゆしクラブ【サ】
	18:30~19:00	バンド演奏、歌	ビートルズ&カーペンターズを歌って楽しく英語を学ぼう【サ】
	19:00~21:00	みんなで歌う会	鹿島混声合唱団、フロッグコーラス 女声コーラス さくら、エルマーナ 童謡・唱歌を歌う会【サ】

※【サ】は、【えいぶる講座】を卒業した【卒業サークル】です。

※内容は変更になる場合があります。

第14回

エイブル祭り

5/17 火曜日 → 22 日曜日

鹿島市生涯学習センター

エイブル

17日
(火)

・オープニングセレモニー
10:00~ エイブルホール

21日
(土)

・展示団体ワークショップ
・エイブルカレー・かき氷
・親子星空観察会 19:30~

22日
(日)

・エイブルマルシェ
・コーラス ワークショップ
~より美しい音の響きを求めて~
・おもしろ理科教室

ホール

21日(土)・22日(日)
エイブルホール
舞台発表(入場無料)

展示

17日(火)~22日(日)
エイブル全館
作品展示・模型ギャラリー

いつもの人も、初めての人も、
エイブルに行こうよ! エイブルにおいでよ!



主催:(一財)鹿島市民立生涯学習・文化振興財団

問合せ:エイブル2階事務局 電話:0954-63-2138

『エイブルおとどけクラシック』 ～邦楽の扉～

『邦楽3人娘コンサート』

平成28年度 第2回エイブル事業 『エイブルおとどけクラシック ～邦楽の扉～』

日 時／平成28年6月6日(月)～9日(木)

場 所／各小学校音楽室

対 象／鹿島小、明倫小…5年生 能古見小、北
鹿島小…5、6年生

内 容／北原香菜子(薩摩琵琶) 高橋浩寿(津軽
三味線) 永池あかり(箏)の3人の講師による小学校
へのアウトリーチ。

なじみの少ない和楽器の生演奏を通して、和楽器の
良さを伝える。28、29年度の2年間で市内の小学校
に同一内容で巡回予定。



平成28年度 第4回エイブル事業 『邦楽3人娘コンサート』 ～同級生トリオが紡ぐ、肥前鹿島の音絵巻～

日 時／平成28年7月2日(土)

開演 14:00 (開場 13:30)

場 所／鹿島市生涯学習センター エイブルホール

チケット／前売券 5月14日(土)発売開始

大人 2,000円 中・高校生 1,000円

小学生 300円 全席自由

※エイブル倶楽部会員500円引き

但し、小学生の会員の割引なし

※当日券 各500円増し

内 容／小学校へのアウトリーチと合わせて、子供か
ら大人まで幅広い年代に和楽器の良さを伝えるコンサ
ート。

北原香菜子(薩摩琵琶・佐賀市) 高橋浩寿(津軽
三味線・佐賀市) 永池あかり(箏・鹿島市)の協演は
初の試み。地元出身の若手和楽器演奏家の活躍を
後押しするとともに、当財団の使命でもある「文化芸術
の継承、創造、発信」につなげていく。

たかはし こうじゅ
高橋 浩寿
津軽三味線・高橋流

ながいけ
永池 あかり
箏・生田流

きたはら か な こ
北原 香菜子
薩摩琵琶・鶴田流

共同記者会見にて
3月24日(木)
エイブルホール

主催・お問合せ／一般財団法人 鹿島市民立生涯学習・文化振興財団(エイブル2階)

〒849-1312 佐賀県 鹿島市 大字納富分2700-1

Tel 0954-63-2138

E-mail able1@po.asunet.ne.jp

鹿島市生涯学習センターエイブル内

ホームページ <http://kashima-able.com/>

出演者プロフィール

北原 香菜子（きたはら かなこ）/薩摩琵琶・鶴田流

佐賀市生まれ。

2001年、早稲田大学第1文学部入学時に薩摩琵琶と出会い、2004年より本格的に薩摩琵琶・鶴田流を田中之雄（ゆきお）氏に師事。

2006年、「くまもと全国邦楽コンクール」において第1位、文部科学大臣奨励賞を受賞。NHK「芸能花舞台」、NHKFM「邦楽のひととき」、「邦楽ジョッキー」、「ラジオ深夜便〜明日へのことば〜」他出演。

NHK邦楽オーディション合格。田中之雄氏とイタリアの3都市で公演。

2012年、平泉・中尊寺にて創作曲「琵琶経（びわきょう）〜3.11 後の供養曲〜」奉納演奏。

現在、稽古場「かなこ堂」（佐賀市大和）を拠点として、古典曲から創作曲まで、国内外で演奏活動を続けている。



高橋 浩寿（たかはし こうじゅ）/津軽三味線・高橋流

佐賀市出身。2歳の頃から父の指導により民謡を始める。

3歳で初舞台を踏む。津軽三味線を初めて聴いた時に感銘を受け、平成6年津軽三味線高橋流 高橋浩次郎師に入門する。

平成13年、高橋流免許皆伝取得。平成16年、津軽三味線全国大会入賞。平成18年、津軽三味線全国大会（日比谷）優秀賞。同年津軽三味線全国大会審査委員特別賞。

平成20・21年、津軽三味線全国大会女性A級入賞。

平成21年、内山文化賞受賞。平成24年、津軽三味線大阪大会3位。

民謡では、平成26年、第49回産経民謡大賞 大賞の部にて内閣総理大臣賞受賞。

現在は、九州を中心に演奏活動中。

永池 あかり（ながいけ あかり）/箏・生田流

鹿島市出身。5歳より生田流宮城会大師範 境時枝氏に師事。東京藝術大学音楽学部邦楽科首席卒業。同大学大学院修士課程修了。

在学中に安宅賞、卒業時にアカンサス音楽賞、同声会賞を受賞。4月同声会新人演奏会にて演奏。2006年、在学中、舞台音楽・式典音楽・ワークショップ等に出演。東京を中心に演奏活動を始める。

2008年4月よりフリー活動。デビューコンサート『レインボー21』（サントリーホール主催）や『第92回世界エスぺラント大会・日本音楽の夕べ』（横浜みなとみらい大ホール）、薔薇会「サマーコンサート」（佐賀市文化会館）などに出演。

2011年、生田流箏曲の師範の免許皆伝。2012年から慶応義塾大学非常勤講師（日本音楽の伝統文化論）。2012年、第19回全国箏曲コンクール奨励賞受賞。2015年、佐賀銀行文化財団新人賞受賞。

これまでに今野須美恵、安藤政輝、牧瀬祐理子、野坂恵子、大浦美紀子、森千恵子、新宮順子、深海さとみ、下平波留美の各氏に師事。宮城社師範、森の会所属。



～ Le lien ～

ソプラノ、フルート & ピアノのタベ

♪ プログラム ♪

ヘンデル / 忘却の甘さの中で
ドヴォルザーク / わが母の教え給いし歌
リスト / ため息、ラ・カンパネラ
ルーセル / ロンサールによる2つの詩
サン＝サーンス / 見えない笛・・・他



P i a n o

松尾 美涼 (鹿島市出身)



Soprano

吉村 華織



F l u t e

羽賀 紀子

2016年6月25日(土) 18:30 開演 (18:00 開場)

鹿島市生涯学習センター・エイブルホール

- 前売券(全席自由) 大人 1,500 円 高校生以下 1,000 円
※エイブル倶楽部会員 各 500 円引き ※当日券 各 500 円増し
※未就学児の入場不可 ※車椅子でのご鑑賞をご希望の方は事前にお申込みください。
- チケット発売日 5月14日(土)
※販売時間はプレイガイドにより異なります。 ※前売で完売の場合、当日券の販売はありません。
- プレイガイド
鹿島市生涯学習センター・エイブル、ピオ、ララベル、モリナガ鹿島店、ゆめタウン武雄
有明スカイパークふれあい郷、嬉野市社会文化会館「リバティ」

主 催／一般財団法人 鹿島市民立生涯学習・文化振興財団、Le lien コンサート実行委員会
後 援／鹿島市、鹿島市教育委員会、佐賀新聞社、NHK佐賀放送局、サガテレビ、
NBCラジオ佐賀、エフエム佐賀、株式会社ネット鹿島 (順不同)

お問合せ／一般財団法人 鹿島市民立生涯学習・文化振興財団 (エイブル2階)

〒849-1312 佐賀県 鹿島市 大字納富分 2700-1 鹿島市生涯学習センター・エイブル内

Tel 0954-63-2138 <http://kashima-able.com/>

華やかで叙情的なソプラノ、柔らかくきらきらと輝くフルートの音色、

それに寄り添い、時にはリードする繊細なピアノ、

フルートが奏でる鳥たちのさえずりと、さまざまな愛のかたちを歌うソプラノ、

ピアノが紡ぎ出す情熱的な響き、

多彩な音楽にしばし酔いしれるタベへ、わかりやすい解説付きでご案内いたします。

～ Le lien ～

「ル・リャン」・・・フランス語で「つながり、絆」のような意味を持ちます。

私たち三人の不思議な縁、お客様との出会いを大切に、音楽と真摯に向き合っていきたいと思っています。

☆「Le lien」の歩み・・・2012年2月と12月に東京・汐留ホールにて羽賀・松尾のデュオ・リサイタルを開催。吉村も加わって、今回の三人の出会いを機に2016年5月14日横浜にて公演。松尾美涼は鹿島市出身で、今回が地元への凱旋記念公演となる。

Piano 松尾 美涼 Misuzu Matsuo

佐賀県鹿島市出身、横浜市在住。武蔵野音楽大学音楽学部器楽学科ピアノ専攻卒業。ピアノを北川暁子、富山紀美子の各氏に師事。佐賀県新人演奏会に出演し、第1位入賞。2009年東京国際芸術協会主催の「第40回 TIAA 全日本クラシック音楽コンサート」に出演し優秀賞を受賞、2010年 TIAA コンサートシリーズ（ショパンの歴史）に出演。その他、器楽・声楽との共演や室内楽などの演奏活動を行う。

Soprano 吉村 華織 Kaori Yoshimura

山口県出身、横浜市在住。広島大学教育学部音楽科声楽専攻卒業。二期会オペラ研修所第51期マスタークラス修了。修了時に優秀賞を受賞。2011年ミラノへ留学。第9回藤沢オペラコンクール第3位。日本音楽コンクール入選(第75・79・81回)。第21回奏楽堂日本歌曲コンクール歌唱部門奨励賞受賞。二期会新進声楽家のタベ、二期会サロンコンサート、東京室内歌劇場コンサート等に出演。2015年ひろしまオペラルネッサンス『フィガロの結婚』バルバリーナ役にて出演、その他、バルコ劇場『中国の不思議な役人』歌う娼婦 梨貞役にて出演。これまで、故 平野忠彦、奥田誠、リナ・ヴァスタ、N.ザリーニに師事。二期会会員。東京室内歌劇場会員。

Flute 羽賀 紀子 Noriko Haga

茨城県日立市出身、在住。上野学園大学音楽学部器楽学科フルート専門卒業。フルートを牧野英一、高信真由美、青木明の各氏に師事。2008年M.グローウェルズ氏のプライベートレッスンを受ける。92年に地元日立にて初リサイタル、99年よりピアノの松尾美涼とパートナーを組み、2001年からは「フルートでできの名曲コンサート」を年1回開催中。その他、ソロや室内楽の演奏活動を行う。自宅教室その他でのフルート個人指導のほか、吹奏楽やアンサンブルにおけるフルートのトレーナーとして指導にあたる。2015年クラシックソムリエ検定《シルバークラス》に合格。

※チラシ・ポスター・チケット Design by N.HAGA

鹿島市生涯学習センター「エイブル」への アクセス

●電車でお越しの方へ

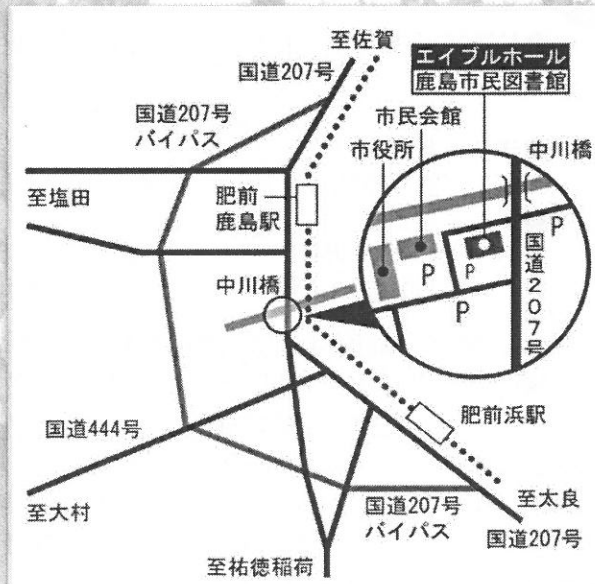
肥前鹿島駅で下車し、市役所方面へ徒歩20分
中川橋隣りレンガの建物です。

●車でお越しの方へ

高速道路 武雄・北方 IC を出て、鹿島市方面へ40分
鹿島市役所に隣接するレンガの建物です。※駐車場有

●Le lien コンサート実行委員会

実行委員長: 中村淑子 / 別府昌子、向井幸子、笠井千世子、
松浦真理子、宮津彰子、小野原秀琴、前田君代、
糸山美紀子、霜村久子、石田興光、小柳幸子、徳山章子





カウンターでの本の貸出や返却、図書館のかざりつけ、本のせりりなどなど・・・。
図書館のお仕事にチャレンジしてみよう！
ふだんお客さんが入れない、ひみつの部屋ものぞけるよ。

と き：5月14日(土)
小学校1～3年生 9:00～11:30
小学校4～6年生 13:30～16:00
人 数：12名
場 所：鹿島市民図書館

応募方法：チラシの下についている応募券を小学校図書室か鹿島市民図書館にある応募箱にいれてね！
チラシは市民図書館のカウンターにもあります。
応募期間：4月8日(金)～4月22日(金)
連絡方法：抽選でえらばれた人にだけ4月30日(土)までに電話で連絡します。

問合せ先：63-4343 【鹿島市民図書館】

きりとりせん

いちにちとしょかんしょくいん おうぼけん
★一日図書館職員 応募券★

なまえ

がっこうめい
学校名

ねん 4年 くみ組

でんわばんごう
電話番号

※抽選でえらばれた人に連絡します

子ども図書館サポーター募集！

市内の小学4年生を対象に「子ども図書館サポーター」を大募集！1年間を通して、おはなし会やカウンターでの貸出・返却、本の整理など、図書館スタッフと一緒に体験できるよ！



対 象：市内小学4年生
募集人数：5人程度
場 所：鹿島市民図書館

応募方法：このチラシについている応募券に

名前・学校名・学年・電話番号

を書いて応募箱にいれてください。

★このチラシは、鹿島市民図書館にもあるよ！

★応募箱は、小学校の図書室、鹿島市民図書館にあります。

応募期間：4月8日(金)～4月22日(金)

連絡方法：※ 抽選でえらばれた人にだけ、

5月8日(金)までに電話で連絡します。

きりとりせん

《図書館サポーター 応募券》

なまえ

がっこうめい
学校名

ねん 4年 くみ組

でんわばんごう
電話番号

※抽選でえらばれた人に連絡します

がいこくご

外国語でたのしむ

かい

おはなし会

がいこくご にほんご えほん よ
外国語と日本語で、絵本を読みます★

いつもとはちがうおはなし会を、いっしょに

たのしみましょう！手あそびや工作など、もりだくさん。

どなたでも参加できますので、みんな、あつまれ～！！

にちじ
日時：

4月30日（土）14時～

ばしょ としょかんない

場所：図書館内おはなしのへや

たいしょう

対象：どなたでも！！

もうこ

申し込みはいりません。参加は無料です。

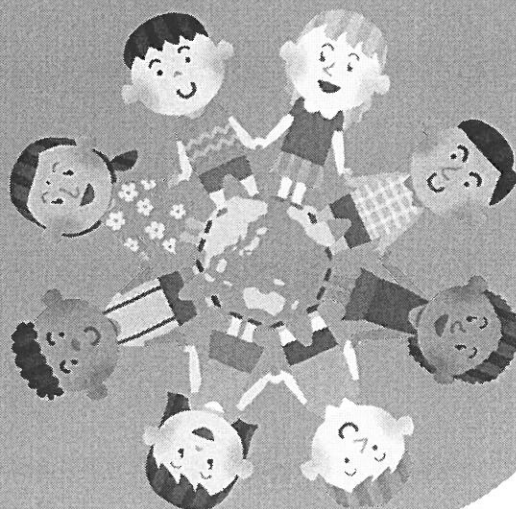
たくさんの参加を
おまちしています♡
きてね～！

といあわ さき

問合せ先：63-4343

かしましみんとしょかん

【鹿島市民図書館】



BINGO!! BINGO!! BINGO!! BINGO!! BINGO!! BINGO!!

としょかんビンゴ

BINGO!! BINGO!! BINGO!! BINGO!! BINGO!! BINGO!!

き かん 期 間 : 4^{がつ}月30^{にち}日(土) ~ 5^{がつ}月5^か日(木)

※ 5^{がつ}月2^か日(月)はお休み^{やす}

たい しょう 対 象 : 3^{さい}才~小^{しょうがくせい}学生

ば しょ 場 所 : 鹿島市民図書館内^{かしましみんとしよかんない}

といあわ 問 合 せ : 0954-63-4343

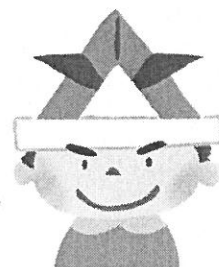


ビンゴカードに書かれた分類番号の本をかり
てスタンプを押してもらおう。

しょうがくせい ひ ん ぐ いじょう しょうがくせいみまん
小学生はビンゴ3つ以上、小学生未満はビン
ゴ2つができたらずプレゼントがもらえるよ!

★ひとり1^{かい}回のちょうせんができるよ~

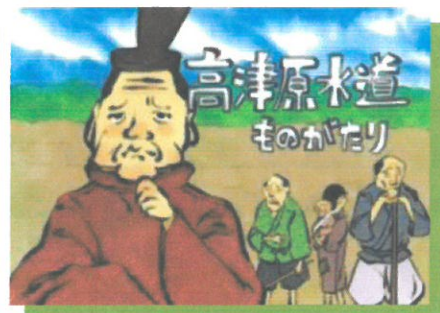
としょかんカードを
もってきてね!!



といあわ マキ
問 合 せ 先

かしましみんとしよかん
鹿島市民図書館

鹿島市民図書館オリジナル 紙芝居展



●と き：5月3日（火）～8日（日）

●ところ：エイブル1階 エントランスロビー

鹿島市民図書館では、鹿島に伝わる昔話の紙芝居3作品を制作しました。

◇『ちよづるひめ』

◇『ひょんちょろりん』

◇『高津原水道ものがたり』

これらの絵は佐賀・鹿島にゆかりのある佐賀大学文化教育学部（現：芸術・地域デザイン学部）の学生さんが描いてくださいました。とても美しく、迫力のある絵に仕上がっています。

どうぞ、みなさんぜひご覧ください！

※紙芝居は、展示後貸し出しすることができます。



問合せ先：鹿島市民図書館 63-4343

自分でアレンジ!

鹿島市民図書館
オリジナル

読書手帖

読書手帖がいよいよ登場!

5/17(火)~22(日) 貸出カウンターにて配布します。

読書の記録を残せる読書手帖。

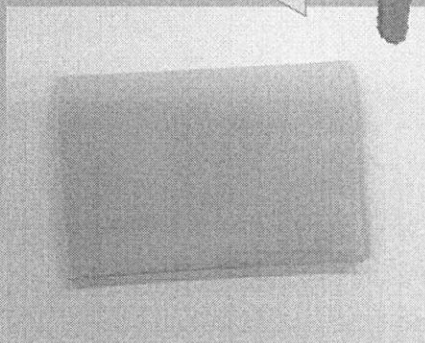
鹿島市民図書館の読書手帖はクラフト紙が表紙のとてもシンプルです。

スタンプやシール、マスキングテープなどで好みのデザインにアレンジすることができます。あなただけの読書手帖を作ってみませんか?

★ スタンプやマスキングテープのアレンジ材料も準備しますので、館内でもつくることができます♪

★ 配布はなくなり次第、終了します。

こんなシンプルな手帖ですが、アレンジすると...



問合せ先：鹿島市民図書館 63-4343

えいぶる講座

会員対象無料講座

古文書講座

～くずし字入門～

掛け軸や古文書に書かれている“くずし字”を読んでみよう！

鹿島ゆかりの歴史資料を題材に、くずし字に向き合うポイントなどを紹介します。

6/23 木 10:00～12:00

1回限り

- 場 所 エイブル3階 研修室A
- 講 師 高橋 研一（鹿島市民図書館学芸員）
- 定 員 20人（先着順で定員になり次第締切）
- 受講料 無 料（エイブル倶楽部会員）

※年会費 1000 円でエイブル倶楽部に入会できます。

- 準備物 筆記用具

申込・問合せ先：（一財）鹿島市民立生涯学習・文化振興財団（エイブル2階）
Tel.0954-63-2138